

高齢者の交通死亡事故が多発！



愛知県の交通死亡事故の特徴として、**高齢者が犠牲となる交通死亡事故が多発し、死者全体の約半数を占めています。**

交通事故に遭わないために！



ドライバーには歩行者の保護義務がありますが、歩行者側も**交通事故に遭わないための行動**を心掛けましょう！

交通事故を起こさないために！



加齢に伴う身体機能の変化により、危険の発見や回避が遅れがちになる傾向があります。**体調が悪い時は運転を控える**など、無理な運転はやめましょう。

CHECK! 高齢者の死亡事故の特徴

歩行者

- 道路横断中に多発！
- 黒っぽい服を着用してはねられる事故が多発！
- 夜間の道路横断中では左から走って来る車にはねられる事故が多発！

自転車

- 自転車利用者の法令違反では**信号無視・一時停止違反**が多発！
- 頭部を負傷して亡くなる方が多数！
- 黒っぽい服を着用してはねられる事故が多発！

ドライバー（四輪車）

- 車両単独による交通事故が多発！

CHECK! 歩行者・自転車利用者は

- 通り慣れた道こそ油断せず、安全確認をしっかりとる。
- 外出するときは、明るい色の服や反射材を着用する。
- 近くに横断歩道があるときは、少し遠回りでも必ず横断歩道を利用する。
- 車の直前直後や斜め横断等の無理な横断はしない。
- 自転車に乗るときはヘルメットを着用し、信号や一時停止などの交通ルールを必ず守る。



CHECK! ドライバーは

- 70歳以上の運転者は、**高齢運転者標識**を表示する。
- 運転前にペダルの位置を確認するなど、確実に正確な運転を行うことを心掛ける。
- 先進安全技術の搭載された**安全運転サポート車（サポカー-S）**を活用する。
- 運転に不安を感じたら、**安全運転相談ダイヤル（#8080）**に相談する。
- 運転免許証の自主返納や、**サポートカー限定免許**への切替を検討する。

